

●コース距離：14.7km
●歩行時間：6.0時間

- 1 早稲田駅
↓0.6km
- 2 漱石公園
↓0.4km
- 3 草間彌生美術館
↓3.2km
- 4 市谷亀岡八幡宮
↓3.3km
- 5 平河天満宮
↓0.8km
- 6 清水谷公園
↓1.7km
- 7 日枝神社
↓1.5km
- 8 金刀比羅宮
↓1.0km
- 9 愛宕神社
↓1.2km
- 10 日比谷公園
↓0.8km
- 11 東京国際フォーラム
↓0.2km
- 12 有楽町駅



11 東京国際フォーラム

旧東京都庁の跡地に作られたコンベンション&アートセンター。国際会議や各種大会、コンサートなどの会場として平成9(1997)年に開館した。建築物としてもそのユニークな姿が高く評価されており、東京のランドマークの一つとなっている。



10 日比谷公園

江戸時代には大藩の江戸屋敷、明治時代には陸軍操練所があった土地だったが、明治36(1903)年に日比谷公園として開園した。現在は大噴水や、公会堂、レストラン、テニスコート、花壇などが整備され、都心にある憩いの場として多くの人々を集めている。

9 愛宕神社

慶長8(1603)年徳川家康により防火の神様として祀られた。23区内では一番高い標高26mの愛宕山頂にある。春は桜の名所として花見客で特に賑わう。参道にある急勾配の「出世の石段」は有名。



8 金刀比羅宮

万治3(1660)年に讃岐丸亀藩が三田の江戸藩邸に金毘羅大権現を勧請したが、丸亀藩邸の移転とともに現在の虎ノ門に遷座された。毎月10日には神楽が奉納される。現在、複合施設として高層オフィスビルの虎ノ門金刀比羅タワーが併設されている。

7 日枝神社

文明10(1478)年、太田道灌が川越山王社を江戸城内に勧請したのが始まり。江戸初期の明暦の大火により社殿が焼失したため、4代將軍家綱によって現在地に移された。東京十社の一つで大正元(1912)年に官幣大社となった。例年6月には江戸三大祭の一つ山王祭が行われる。



Walking Course



12 有楽町駅

有楽町の名前は織田信長の実弟で茶人でもあった織田有楽斎の屋敷があったことに由来する。JR山手線と東京メトロ有楽町線が乗り入れている。JR有楽町駅の1日の乗車数は約17万人。

快汗ウォーキングコース

日枝神社の赤鳥居



早稲田駅から市ヶ谷、赤坂、虎ノ門、愛宕、日比谷を経て、有楽町駅へと歩く半日コース

1 早稲田駅

東京メトロ東西線の駅。昭和39(1964)年12月開業。1日の平均乗降人数は約8万人。

2 漱石公園

夏目漱石が明治40(1907)年から大正5(1916)年に亡くなるまで住んだ漱石山房跡にできた公園。公園内には新宿区立の漱石山房記念館や漱石まつわる資料、パネルが展示してある道草庵などがある。



3 草間彌生美術館

網目模様や水玉をモチーフとした作品で有名な前衛芸術家、草間彌生の作品や資料が展示された美術館。草間彌生本人が平成29(2017)年10月に設立した。「世界平和」「人間愛」をテーマとした草間ワールドが楽しめる。開館日は木～日曜日の週4日と国民の祝日となっている。入場にはホームページからチケットの予約購入が必要。



5 平河天満宮

都心のビルの谷間にある天満宮。太田道灌が江戸城内に勧請したのが始まり。その後、徳川家康が江戸入城後、江戸城本丸改修にあたり徳川秀忠によって現在地に移され、徳川幕府や紀州徳川家、尾張徳川家、彦根井伊家などの篤い信仰を受けた。現在も学問や商売繁盛を祈願する参拝者で賑わっている。



6 清水谷公園

千代田区紀尾井町にある、都会のオアシスともいえる緑豊かな公園。明治11(1878)年に大久保利通がこの地で暗殺された。公園内には大久保利通哀悼碑が建てられている。哀悼碑の建立者が周辺の土地を東京市(当時)に寄贈したことから明治23(1890)年に清水谷公園として開園した。



4 市谷亀岡八幡宮

文明11(1479)年に太田道灌が江戸城築城の際に鎌倉の鶴岡八幡宮から分霊したのが始まり。鎌倉の鶴岡(つるがおか)に対して亀岡(かめがおか)とした。江戸時代には市谷八幡宮と呼ばれ三代將軍徳川家光やその側室である桂昌院などの信仰を受けて発展した。太平洋戦争の戦火により社殿や神木が焼失したが、昭和37(1962)年に現在の社殿が建てられた。

